

平成25年2月22日

消費生活用製品の重大製品事故に係る公表について

消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告のあった重大製品事故について、以下のとおり公表します。

1. ガス機器・石油機器に関する事故 6件
(うち半密閉式(CF式)ガス瞬間湯沸器(都市ガス用)1件、
石油ふろがま1件、石油給湯機1件、石油給湯機付ふろがま1件、
石油ストーブ(開放式)1件、石油温風暖房機(開放式)1件)
2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因が疑われる事故 6件
(うち電気こんろ1件、電気カーペット1件、歩行器1件、
電気ストーブ(オイルヒーター)1件、電子レンジ1件、
ポータブルDVDプレーヤー1件)
3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因か否かが特定できていない事故 6件
(うちIH調理器1件、電話機1件、電動工具(ハンマ)1件、
電気乾燥機(靴用)1件、脚立(はしご兼用)(アルミニウム合金製)1件、
自転車1件)
4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故情報専門調査会及び第三者委員会合同会議(※)において、審議を予定している案件
該当案件無し

1.～4.の詳細は別紙のとおりです。

※正式名称は「消費者安全調査委員会製品事故情報専門調査会及び消費経済審議会製品安全部会製品事故判定第三者委員会合同会議」という。

5. 留意事項

これらは消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づく報告内容の概要であり、現時点において、調査等により事実関係が確認されたものではなく、事故原因等に関し、消費者庁として評価を行ったものではありません。

本公表内容については、速報段階のものであり、今後の追加情報、事故調査の進展等により、変更又は削除される可能性があります。

6. 特記事項

(1) 株式会社長府製作所が製造した石油ふろがまについて（管理番号A201200925）

① 事故事象について

株式会社長府製作所が製造した石油ふろがまを使用中、当該製品を焼損する火災が発生しました。

当該事故の原因は、現在、調査中ですが、機器の修理、点検及び空焚き防止装置の作動状況を判定するため、一時的に使用する点検用コネクター（空焚き防止装置を働かせないようにするもの）を修理・点検後に戻し忘れたため、浴槽の排水栓が閉まっておらず浴槽に水がない状態で空焚きとなった際に空焚き防止装置が作動せず、火災に至ったものと考えられます。

② 再発防止策について

同社は、当該製品を含む対象機種（下記③）について、修理・点検時における点検用コネクターの戻し忘れにより空焚き事故が発生したことから、事故の再発防止を図るため、平成19年7月27日にプレスリリース及びホームページに情報掲載を行い、点検用コネクターが付属されている全ての機種について、無償点検により点検用コネクターの回収を実施しています。

また、他の対象機種と電気回路や熱交換器の構造等が一部異なる2機種（CK-11及びCK-11S）については、空焚き防止回路が不安定となることによって空焚き防止装置の作動頻度が多くなり、修理・点検の回数も増え、点検用コネクターの戻し忘れの可能性が高くなることから、安定的な作動を確保するため基板を交換する改修を実施しています。

このようなことから、同社は、平成19年7月28日に新聞社告の掲載、平成21年10月から平成22年3月までTVCM放映を行うとともに、これまで継続的に、販売店、サービス店を通じ、同社製品の修理・点検時に対象機種があった場合には、点検用コネクターの戻し忘れがないかの確認と回収等の徹底、また、ポスター掲示、店頭チラシ配布、新聞折込みチラシ等による無償点検・改修の呼び掛けを行っています。なお今般の事故を受け、さらなる無償点検・改修に向け取組みを検討中です。

③ 対象製品等：品目、機種名、製造期間、改修対象台数

品目	機種名	製造期間	改修対象台数
石油ふろがま	JK、JK2、JK-N ※ (バーナ型式：BM-71K、BM-71KT) (セッティング型式：JPK、JPS-T、JPK-N)	昭和59年7月～ 平成3年9月	243, 420台
	JPS-T3、JPK-N3	平成3年8月～ 平成13年9月	257, 603台
	CK-8、CK-8E	昭和60年1月～ 平成4年5月	23, 815台
	CK-9、CK-9E	昭和60年11月～ 昭和62年7年	3, 840台
	CK-10、CK-10S	昭和61年12月～ 平成13年9月	54, 181台
	CK-11、CK-11S	昭和62年4月～ 平成11年10月	111, 085台
	小計		693, 944台
追焚付石油給湯器	JIB-T	昭和59年11月～ 昭和63年1月	3, 150台
	JIB-2T	昭和59年10月～ 昭和63年7月	9, 093台

JIB-4	昭和58年4月～ 昭和59年8月	4, 3 2 3台
JIB-5、JIB-5E、JIB-5S、JIB-5SE	昭和58年11月～ 昭和61年7月	1 2, 9 9 0台
JIB-6N、JIB-6NE、JIB-6NEG、 JIB-6NS、JIB-6NSG、JIB-6EA、 JIB-6EAG、JIB-6SA、JIB-6SAG	昭和61年3月～ 昭和63年4月	3 0, 3 3 3台
JIB-7EG、JIB-7S、JIB-7SAG、 JIB-7SG	昭和62年12月～ 平成3年12月	3 9, 1 3 4台
小 計		9 9, 0 2 3台
合 計		7 9 2, 9 6 7台

※ 印の型式については、機器本体に表示がされており、別途、バーナー部には、バーナー型式名、取扱説明書には、セット型式が表示されています。

改修率 3 2. 9 % (平成 2 5 年 1 月 3 1 日 現在)

対象製品の確認方法

〈型式表示場所〉 ※図は一例ですが、本体正面または側面に型式名の表示があります。



④消費者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだ事業者の行う無償点検・改修を受けていない方は、浴槽に水があることを確認して使用していただくとともに、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

(株式会社長府製作所の問合せ先)

電話 番 号 : 0 1 2 0 - 9 1 1 - 8 7 0

受 付 時 間 : 9 時 ~ 1 8 時 (土・日・祝日を除く。)

ホームページ : <http://www.chofu.co.jp/support/important/20070727.html>

(2) 株式会社ノーリツが製造した石油給湯機及び石油給湯機付ふろがまについて（管理番号A201200927及びA201200928）

①事象について

株式会社ノーリツが製造した石油給湯機及び石油給湯機付ふろがまから出火する火災が発生し、当該製品を焼損しました。

管理番号A201200928の石油給湯機付ふろがまの事故原因は、現在、調査中ですが、電磁ポンプの制御弁に使用されているOリング（パッキン）が劣化して硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生したことから、漏れた灯油に引火し、火災に至ったものと考えられます。

また、管理番号A201200927の石油給湯機の事故原因については、現在、調査中です。

②再発防止策について

同社は、当該製品を含む対象機種（下記③）の石油給湯機付ふろがま及び石油給湯機について、事故の再発防止を図るため、平成14年10月24日から無償改修を開始し、平成18年12月4日には、再度新聞社告を掲載し、注意喚起を行っています。さらに、平成21年12月からは、戸建住宅へのチラシ直接配布や、全石連（全国石油商業組合連合会、全国石油共済協同組合連合会）を通じて、47都道府県の石油商業組合及び石油組合に加盟している石油販売事業者に協力を依頼し、灯油の納入先にリコール対象製品がないのかの確認を行うなど対象製品の改修促進を図っています。

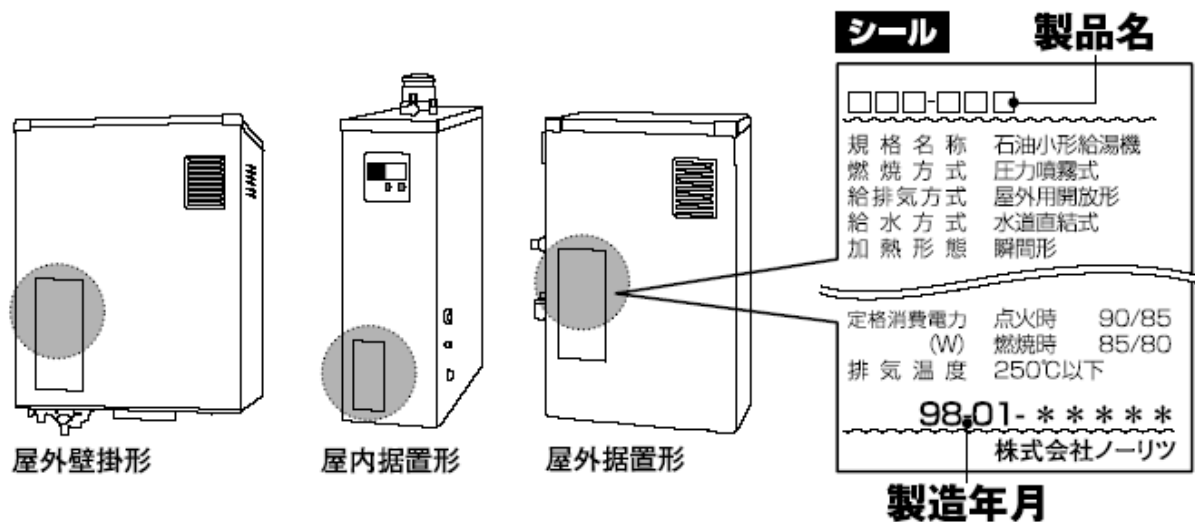
また、社団法人日本ガス石油機器工業会では、同構造の電磁ポンプを有する石油給湯機を製造した事業者等6社と共同で、新聞社告を新聞各紙に掲載し、未改修の該当機種をお持ちの消費者に対して速やかに連絡を頂くよう呼び掛けを行っています（詳細は、⑤参照。）。

③対象製品等：会社名、ブランド、機種・型式名、該当製造年月

会社名	ブランド	機種・型式名	該当製造年月
(株)ノーリツ	N O R I T Z	OTQ-302 * OTQ-303 * OTQ-305 * OTQ-403 * OTQ-405 * OQB-302 * OQB-305 * OQB-403 * OQB-405 *	1997年（平成9年）3月～ 2001年（平成13年）3月
高木産業(株) （現 パーパス(株)）	パーパス	AX-400ZRD	
日立化成工業(株) （現 (株)ハウステック）	—	HO-350 * HO-360 * HO-450 * KZO-460 *	

※製品名の末尾の*には英数字が続きますが、すべて該当品です。

※リコール対象製品の製品名及び製造年月は器具本体前面のシールに表示されています。



改修対象台数 180,900台
改修率 98.4% (平成25年1月31日現在)

④消費者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだ製造事業者等の行う無償改修を受けていない方は、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

なお、改修対象製品には、株式会社ノーリツの「NORITZ」ブランドのほか、高木産業株式会社（現 パーパス株式会社）の「パーパス」ブランド、日立化成工業株式会社（現 株式会社ハウステック）の製品もあります。

（株式会社ノーリツの問合せ先）

電話番号：0120-018-170

受付時間：9時～19時（平日）

9時～17時（土・日・祝日）

ホームページ：<http://www.noritz.co.jp/info/05-1.html>

（パーパス株式会社の問合せ先）

電話番号：0120-575-399

受付時間：9時～18時（土・日・祝日、年末年始を除く。）

ホームページ：

<http://www.purpose.co.jp/home/announce/product/wh200210.html>

（株式会社ハウステックの問合せ先）

電話番号：0120-551-654

受付時間：9時～17時30分（平日）

ホームページ：<http://www.housetec.co.jp/topics/05furogama.html>

⑤社団法人日本ガス石油機器工業会及び製造事業者の取組

社団法人日本ガス石油機器工業会では、石油給湯機等について上記リコール開始後も未改修品での事故が発生しているため、同じ構造の電磁ポンプを有する石油給湯機等を製造した株式会社ノーリツ、東陶ユプロ株式会社（現 TOTO株式会社）、長州産業株式会社及びOEMを含む6社と共同で、平成20年11月から12月にかけて、順次、新聞社告を新聞各紙に掲載し、未改修の該当機種をお持ちの消費者に対して速やかに連絡を頂くよう呼び掛けを行っています。

また、同工業会のホームページにおいて、東京ツチヤ販売株式会社及び株式会社ワカサの2社を加えた8社について注意喚起をしています。

対象製品をお持ちで、まだ製造事業者等の行う無償改修を受けていない方は、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

対象製品等：ブランド名<会社名>、機種・型式名・製造期間、問合せ先

ブランド名<会社名>	機種・型式名・製造期間	問合せ先
NORITZ <株ノーリツ>	OTQ-302 * OTQ-303 * OTQ-305 * OTQ-403 * OTQ-405 * OQB-302 * OQB-305 * OQB-403 * OQB-405 * 製造期間：平成9年3月～平成13年3月	ホームページ http://www.noritz.co.jp/info/05-1.html 電話番号：0120-018-170
ハウステック <日立化成工業(株) (現株ハウステック)>	HO-350 * HO-360 * HO-450 * KZO-460 * <株ノーリツ製> 製造期間：平成9年3月～平成13年3月	ホームページ http://www.housetec.co.jp/company/attention/2002/10/ho-350.html 電話番号：0120-551-654
TOTO <東陶ユプロ(株) (現TOTO株)>	RPE32K * RPE40K * RPE41K * RPH32K * RPH40K * RPH41K * 製造期間：平成7年8月～平成11年6月	ホームページ http://www.toto.co.jp/News/yupro/index.htm 電話番号：0120-444-309
パーパス <高木産業(株) (現パーパス株)>	TP-BS320 * D (但し、TP-BS320は除く) TP-BS402 * D TP-BSQ402 * <TOTO株製> 製造期間：平成7年8月～平成11年6月 AX-400ZRD <株ノーリツ製> 製造期間：平成9年3月～平成13年3月	ホームページ http://www.purpose.co.jp/home/announce/product/wh200210.html 電話番号：0120-575-399
NEPON <ネポン株>	URA320 URA320S URB320 URB320S UR320 UR320S UR404S <TOTO株製> 製造期間：平成7年8月～平成11年6月	ホームページ http://www.toto.co.jp/News/yupro/index.htm 電話番号：0120-444-309 TOTO株で受付
CIC <長州産業株>	PDX-403D DX-403D PDF-403D DF-403D DX-403DF 製造期間：平成8年5月～平成11年10月 PDF-321V PDF-401A PDF-411D-A DX-411D PDX-321V PDX-411D <TOTO株製> 製造期間：平成7年8月～平成11年6月	ホームページ http://www.choshu.co.jp/modules/information/index.php?page=article&storyid=3 電話番号：0120-652-963 ホームページ http://www.toto.co.jp/News/yupro/index.htm 電話番号：0120-444-309 TOTO株で受付

ツチヤ 〈東京ツチヤ販売株〉	AX-402A EX-403A FK-405A FC-406A 〈長州産業株製〉 製造期間:平成8年5月～平成11年10月	ホームページ http://www.choshu.co.jp/modules/information/index.php?page=article&storyid=3 電話番号:0120-652-963 長州産業株で受付
ワカサ 〈株ワカサ〉	WBF-400C 〈長州産業株製〉 製造期間:平成8年5月～平成11年10月	

※機種・型式名の末尾の*には英数字が続きますが、すべて該当品です。

(社団法人日本ガス石油機器工業会)

ホームページ: <http://www.jgka.or.jp/>

該当機種 (写真は一部)

- ・本体と製品名・製造年月日は器具本体前面にシールにて表示されています。
- ・形状は各社により、排気部の形状など異なります。
- ・掲載写真は一部ですべてではありません。詳細はメーカーのホームページをご覧ください。



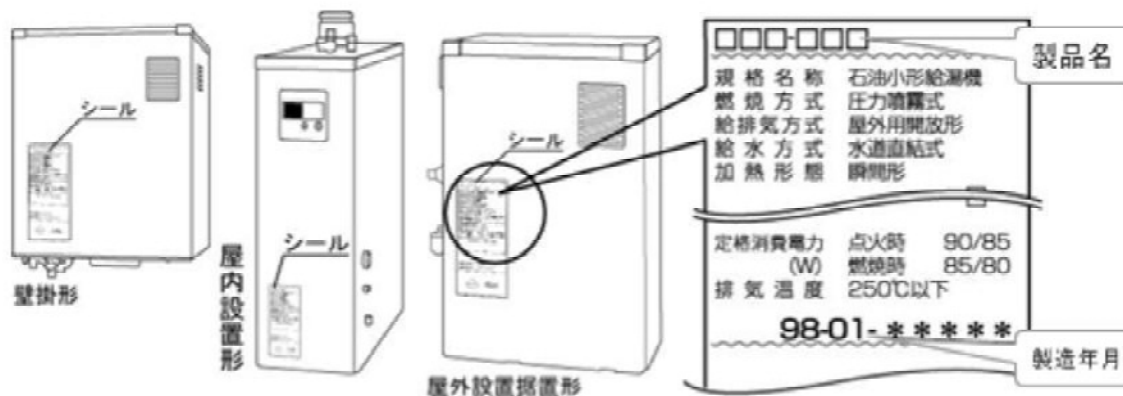
長州産業



TOTO



ノーリツ



(3) 株式会社千石が輸入し、日本エー・アイ・シー株式会社（アラジンブランド）が販売した石油温風暖房機（開放式）について（管理番号A201200931）

①事象について

株式会社千石が輸入し、日本エー・アイ・シー株式会社（アラジンブランド）が販売した石油温風暖房機（開放式）を使用中、異臭に気付き確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生しており、2名が負傷しました。

事故原因は、現在、調査中ですが、点火時に灯油を気化させるヒーターが、何らかの原因で連続通電状態となり、バーナー部のソレノイド（灯油気化ガスをバーナーに送るノズル開閉弁）を過熱し、焼損に至ったものと考えられます。

②再発防止策について

株式会社千石及び日本エー・アイ・シー株式会社は、対象機種（下記③）について、運転開始時に運転ボタンの押し込み不足があると、本体内部が過熱し、発煙や床面を焦がすおそれがあることから、平成23年1月28日からホームページ掲載、販売店内告知により、注意喚起を呼び掛けています。

また、対象機種（下記③）のうち、運転開始時に正常に点火せず、エラーメッセージであるU10、H31、H83が表示された製品については、本体が過熱するおそれがあることから、平成23年2月4日にホームページに情報を掲載するとともに、使用者へのダイレクトメールの送付、また平成23年2月、平成24年10月に新聞社告を掲載し、注意喚起及び無償交換の呼び掛けを行っています。

③対象製品等：ブランド、機種名、販売期間、改修対象台数（販売台数）

ブランド	機種名	販売期間	改修対象台数 （販売台数）
アラジン	AKF-P321N	平成22年 8月 ～ 平成22年12月	151, 182台
合 計			151, 182台

改修率 23.1%（平成25年1月31日現在）

対象製品の外観



④消費者への注意喚起

(a) 対象製品（型式：AKF-P321N）運転開始時の確認事項

- ・「運転 入／切」ボタンを強く押し込み、赤ランプの点灯を確認してください。
約2分後、自動点火し、送風が始まります。
燃焼確認窓から正常に燃焼していることを確認してください。
- ・停止時は、「運転 入／切」ボタンを強く押し込み、赤ランプが消えたことを確認してください。



(b) 無償交換について

- ・対象製品が正常に点火せず、U10、H31、H83のエラー表示が出た製品をお持ちの方は、本体が過熱するおそれがあることから、直ちに使用を中止し、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

（問合せ先）

アラジン石油ファンヒーターお客様相談室

電話番号：0120-15-1059

受付時間：9時～17時（土・日・祝日を除く。）

ホームページ：日本エー・アイ・シー株式会社

<http://www.aladdin-aic.com/importance/index.html>

(4) 松下電器産業株式会社（現 パナソニック株式会社）が製造した電気こんろについて（管理番号A201200919）

※松下電器産業株式会社（現 パナソニック株式会社）製ミニキッチン「NE-90EC」に組み込まれたもの

①事故事象について

松下電器産業株式会社（現 パナソニック株式会社）が製造した電気こんろ及び周辺を焼損する火災が発生しました。

当該事故の原因は、現在、調査中ですが、身体等が当該製品のつまみに触れてスイッチが入り、当該製品の上に置かれていた可燃物に引火したものと考えられます。

②再発防止策について

小形キッチン等に組み込まれた電気こんろ（つまみが飛び出しているもの）については、身体や荷物がつまみ（スイッチ操作部）に触れ、スイッチが入ってしまう事故が多発していることから、各事業者において、つまみ（スイッチ部）の無償改修を行っています。

さらに、電気こんろメーカー及びキッチンユニットメーカー13社は、平成19年6月20日に「小形キッチンユニット用電気こんろ協議会」を設立し、再発防止のため、100%改修を目指した「一口電気こんろ」の抜本的対策を、平成19年7月3日及び同年7月31日に公表し、同年7月4日に新聞社告を掲載し、改修を進めています。

また、同様のスイッチ構造を持つ、「上面操作一口電気こんろ」及び「複数口電気こんろ」については、平成19年7月31日に公表し、同年8月1日に新聞社告を掲載し改修を進めています。また、新聞折り込みチラシの配布を全国で展開する等改修を進めています。

なお、製造事業者等が改修のためにダイレクトメールを届けたり直接訪問を行ったものの、留守であったり、返信がなかったために改修が出来なかったものから火災事故が発生したケースもあります。

対象製品の外観（写真は松下電器産業株式会社 NK-1102）



※一口電気こんろ

改修対象台数 530,401台（全社合計）
改修率 95.9%（平成25年1月31日現在）

※上面操作一口電気こんろ

改修対象台数 60,969台（全社合計）
改修率 73.1%（平成25年1月31日現在）

※複数口電気こんろ

改修対象台数 147,700台（全社合計）
改修率 69.3%（平成25年1月31日現在）

③消費者への注意喚起

当該製品を含む電気こんろのつまみカバーのない製品について、火災事故が多発しています。当該電気こんろはつまみ部分にカバーがなく露出しており、身体や荷物が触れてしまうと気がつかないうちに火災につながる恐れがあります。

消費者の皆様においては、電気こんろの上や周辺に可燃物を置くことを避けていただくとともに、電気こんろのつまみにカバーのない製品をお使いで、まだ製造事業者等の行う改修を受けていない方は、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

消費者の皆様及び当該製品を設置するアパート等を所有又は管理されている皆様においては、製造事業者等が行う訪問改修に御協力いただくようお願いいたします。

（小形キッチンユニット用電気こんろ協議会の問合せ先）

電話番号：0120-355-915

受付時間：9時～17時（土・日・祝日を除く。）

ホームページ：<http://www.denki-konro.jp/>

（パナソニック株式会社の問合せ先）※今回の製品に関する上記以外の問合せ先

電話番号：0120-116-484

火災事故防止に向けて 改修のお願い

1977年から2004年までに製造したキッチンユニット等でご使用の電気こんろを探しています

身体や物が接触し、意図せずスイッチが「入」となる可能性がある構造であったために、電気こんろの上や周囲に可燃物が置かれていて、火災事故に至る危険性があります。



一口こんろ (前面操作) ※写真は富士工業製



ブランド表示はHITACHIまたは、Sunwave

一口こんろ (上面操作)



複数口こんろ (前面操作のみ)

対象製品 スイッチ部外観例



つまみが飛び出している電気こんろが対象です。

改修済み製品 スイッチ部外観例



周りにガードのあるつまみは改修済みです。引き続きご使用いただけます。

【対象製品】

形式	電気こんろメーカー (現社名)	電気こんろ品番
前面操作一口電気こんろ※1	サンウエーブ工業	SBE-101-100V, SBE-101-200V, FHS-31A, FHS-31B
	東芝ホームアプライアンス (旧担当会社 東芝コンシューマーマーケティング株式会社)	BHP-111, BHP-121
	パナソニック アプライアンス社 (旧社名 松下電器産業株式会社)	NK-1101, NK-1102, NK-2101, NK-2102
	日立アプライアンス	HT-1250, HT-1550, HT-1250T
	ハウステック (旧社名 株式会社日立ハウステック)	HK-1102, HK-2102, HT-1250C
	富士工業 三菱電機	FH-31A, FH-31B (品番表記がなく、100V, 200Vのみを表示している製品もあります。) CR-1201, CR-1201A, CR-1202, CR-1501, CR-1501A, CR-1501B
上面操作一口電気こんろ※1	サンウエーブ工業	HT-1290, HT-1500
	日立アプライアンス	HT-1290, HT-1290T, HT-1500
複数口電気こんろ※2	サンウエーブ工業	SBE-2G, SBE-3G, SBE-3T
	東芝ホームアプライアンス (旧担当会社 東芝コンシューマーマーケティング株式会社)	HP-2000, HP-2000J, HP-2000T, HP-3000, UHP-S36A, UHP-S36AT, BHP-361T, BHP-365, BHP-461, BHP-461N, BHP-461W
	パナソニック アプライアンス社 (旧社名 松下電器産業株式会社)	NK-2220, NK-2251, NK-2252, NK-2306, HNT-2200 (※3), NK-2201, NK-2202, NK-2203, NK-2301, NK-2302, NK-2303, NK-2204, NK-2204CM, NK-2204M, NK-2304, NK-2305, NK-2307
	日立アプライアンス 富士工業	HT-3000G, HT-3010G, HT-3310, HT-3510, HT-3511A, HT-4510, HT-D3451, HT-D4451, HT-D4451SS FH-62, FH-621, FH-63, NSH-621, SBA-201, SBA-211, SBA-211A, SBA-301, SBA-311, SBA-311L

※1.小形キッチンユニット (冷蔵庫付きタイプ・扉仕様タイプ等もあります) に組み込まれています ※2.据置き型・ビルトイン型があります ※3.ブランド名はHEC

上記電気こんろは、下記協議会加盟キッチンユニットメーカー他のキッチンまたはキッチンテーブル等に組み込まれている場合があります。

【小形キッチンユニット用電気こんろ協議会加盟キッチンユニットメーカー (五十音順)】

クリナップ株式会社、三協立山アルミ株式会社、タカラスタンダード株式会社、パナソニック株式会社 エコソリューションズ社

【小形キッチンユニット用電気こんろ協議会加盟会社名・お問い合わせ先 (五十音順)】

誠に申し訳ありませんが電気こんろのスイッチを無償で改修いたしますので、下記フリーダイヤルへご連絡ください。

クリナップ株式会社 0120-126-174 http://cleanup.jp/	三協立山アルミ株式会社 0120-202-436 http://www.sankyotateyama-al.co.jp/	タカラスタンダード株式会社 0120-200-805 http://www.takara-standard.co.jp/
東芝ホームアプライアンス株式会社 (旧担当会社 東芝コンシューマーマーケティング株式会社) 0120-668-401 http://www.toshiba.co.jp/tha/	株式会社ハウステック (旧社名 株式会社日立ハウステック) 0120-524-852 http://www.housestec.co.jp/	パナソニック株式会社 アプライアンス社 (旧社名 松下電器産業株式会社) 0120-391-391 http://panasonic.co.jp/
パナソニック株式会社 エコソリューションズ社 (旧社名 松下電工株式会社) 0120-116-484 http://panasonic-denko.co.jp/	日立アプライアンス株式会社 0120-256-557 http://www.hitachi-ap.co.jp/	富士工業株式会社 0120-500-621 http://www.fjic.co.jp/
三菱電機株式会社 0120-099-506 http://www.mitsubishielectric.co.jp/	株式会社 LIXIL (製造 サンウエーブ工業株式会社) 0120-190-530 http://www.sunwave.co.jp/	

フリーダイヤル受付時間 9:00~17:00 (土、日、祝日を除く)

お客様からご提供いただきました氏名・住所・電話番号などの個人情報、当該製品の点検と改修目的以外には使用いたしません。

小形キッチンユニット用電気こんろ協議会 **0120-355-915** メールアドレス dkk.jimu@denki-konro.jp

<http://www.denki-konro.jp/>



(本発表資料の問合せ先) 消費者庁消費者安全課
(製品事故情報担当) 担 当 : 大木、長井、川船^{かわふね}
電 話 : 03-3507-9204 (直通)
F A X : 03-3507-9290

(株式会社長府製作所が製造した石油ふろがまについての発表資料に関する問合せ先)

(株式会社ノーリツが製造した石油給湯機付ふろがまについての発表資料に関する問合せ先)

(株式会社千石が輸入し、日本エー・アイ・シー株式会社(アラジンブランド)が販売した石油温風暖房機(開放式)についての発表資料に関する問合せ先)

経済産業省商務流通保安グループ製品安全課製品事故対策室
担当 : 宮下、谷、山田 電 話 : 03-3501-1707 (直通)
F A X : 03-3501-2805

(松下電器産業株式会社(現 パナソニック株式会社)が製造した電気こんろについての発表資料に関する問合せ先)

経済産業省商務流通保安グループ製品安全課製品事故対策室
担当 : 宮下、古田、長沼 電 話 : 03-3501-1707 (直通)
F A X : 03-3501-2805

1. ガス機器・石油機器に関する事故(製品起因か否かが特定できていない事故を含む)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201200921	平成25年2月7日	平成25年2月18日	半密閉式(CF式)ガス瞬間湯沸器(都市ガス用)	PH-161M	パロマ工業株式会社(現 株式会社パロマ)	CO中毒軽症3名	当該製品を使用中、一酸化炭素中毒により3名が軽症を負う事故が発生した。現在、原因を調査中。	新潟県	2月8日に経済産業省商務流通保安グループにて公表済事故 2月15日に消費者安全法の重大事故等として公表済
A201200925	平成25年2月2日	平成25年2月18日	石油ふろがま	JPK-N	株式会社長府製作所	火災	当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。 事故原因は、現在、調査中であるが、機器の修理、点検及び空焚き防止装置の作動状況を判定するため、一時的に使用する点検用コネクター(空焚き防止装置を働かせないようにするもの)を修理・点検後に戻し忘れたため、浴槽の排水栓が閉まっておらず浴槽に水がない状態で空焚きとなった際に空焚き防止装置が作動せず、火災に至ったものと考えられる。	千葉県	製造から20年以上経過した製品 平成19年7月27日からリコールを実施(特記事項を参照) 改修率 32.9%
A201200927	平成25年2月8日	平成25年2月18日	石油給湯機	OQB-305Y	株式会社ノーリツ	火災	異音に気付き確認すると、当該製品から出火する火災が発生しており、当該製品を焼損した。現在、原因を調査中。	静岡県	製造から10年以上経過した製品 平成14年10月24日からリコールを実施(特記事項を参照) 改修率 98.4% 2月21日に消費者安全法の重大事故等として公表済
A201200928	平成25年2月10日	平成25年2月18日	石油給湯機付ふろがま	OTQ-405AYS	株式会社ノーリツ	火災	当該製品を使用中、屋外の異常に気付き確認すると、当該製品から出火する火災が発生しており、当該製品を焼損した。 事故原因は、現在、調査中であるが、電磁ポンプの制御弁に使用されているリング(パッキン)が劣化して硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生したことから、漏れた灯油に引火し、火災に至ったものと考えられる。	石川県	製造から10年以上経過した製品 平成14年10月24日からリコールを実施(特記事項を参照) 改修率 98.4%

1. ガス機器・石油機器に関する事故(製品起因か否かが特定できていない事故を含む)(続き)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201200929	平成25年2月12日	平成25年2月19日	石油ストーブ(開放式)	LC-L368S(株式会社長府製作所ブランド:型式FH-3606T)	株式会社トヨミ(株式会社長府製作所ブランド)	火災	建物を全焼する火災が発生し、現場に当該製品があった。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	熊本県	
A201200931	平成25年2月15日	平成25年2月19日	石油温風暖房機(開放式)	AKF-P321N(日本エー・アイ・シー株式会社「アラジン」ブランド)	株式会社千石(日本エー・アイ・シー株式会社「アラジン」ブランド)(輸入事業者)	火災 軽傷2名	当該製品を使用中、異臭に気付き確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生しており、2名が負傷した。事故原因は、現在、調査中であるが、点火時に灯油を気化させるヒーターが、何らかの原因で連続通電状態となり、バーナー部のソレノイド(灯油気化ガスをバーナーに送るノズル開閉弁)を過熱し、焼損に至ったものと考えられる。	北海道	平成23年2月4日からリコールを実施(特記事項を参照) 改修率 23.1%

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201200919	平成25年2月6日	平成25年2月18日	電気こんろ	NK-1102(松下電器産業株式会社(現 パナソニック株式会社)製ミニキッチン「NE-90EC」に組み込まれたもの)	松下電器産業株式会社(現 パナソニック株式会社)	火災	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。事故原因は、現在、調査中であるが、身体等が当該製品のつまみに触れてスイッチが入り、当該製品の上に置かれていた可燃物に引火したものと考えられる。	大阪府	平成19年7月3日から事業者が共同してリコールを実施(特記事項を参照) 改修率 95.9%(一口電気こんろ合計)
A201200920	平成25年1月29日	平成25年2月18日	電気カーペット	KC-122H	コーナン商事株式会社(輸入事業者)	火災	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	京都府	2月15日に消費者安全法の重大事故等として公表済
A201200922	平成25年2月5日	平成25年2月18日	歩行器	HK02-SD	株式会社幸和製作所(輸入事業者)	重傷1名	当該製品を使用中、当該製品のキャスター部が破損し、転倒、負傷した。現在、原因を調査中。	愛媛県	
A201200923	平成25年1月14日	平成25年2月18日	電気ストーブ(オイルヒーター)	MD512/11AS	株式会社ダーハム(輸入事業者)	火災	当該製品を使用中、当該製品の操作部付近から発煙し、当該製品を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	兵庫県	事業者が事故を認識したのは、2月8日 2月15日に消費者安全法の重大事故等として公表済

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故(続き)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201200926	平成25年1月28日	平成25年2月18日	電子レンジ	不明	大宇電子ジャパン株式会社 (輸入事業者)	火災	当該製品を使用中、当該製品内部から発煙し、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	神奈川県	
A201200930	平成25年1月19日	平成25年2月19日	ポータブルDVDプレーヤー	CPDP-940	株式会社シーマ・ラボラトリー (輸入事業者)	火災	火災報知機が鳴動したため確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。現在、原因を調査中。	奈良県	事業者が事故を認識したのは、2月13日

3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201200917	平成25年1月3日	平成25年2月18日	IH調理器	重傷1名	当該製品を使用中、湯が噴出し、顔と右手に火傷を負った。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	東京都	事業者が事故を認識したのは、2月6日
A201200918	平成25年2月2日	平成25年2月18日	電話機	火災	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品から出火したのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	高知県	2月15日に消費者安全法の重大事故等として公表済
A201200924	平成24年10月11日	平成25年2月18日	電動工具(ハンマ)	死亡1名	工事現場で当該製品を使用中、ガス爆発が発生した。1名が負傷し、後日死亡が確認された。漏れたガスに引火した可能性も含め、現在、原因を調査中。	福岡県	事業者が事故を認識したのは、2月8日
A201200932	平成25年1月29日	平成25年2月19日	電気乾燥機(靴用)	火災	建物を全焼する火災が発生し、現場に当該製品があった。当該製品から出火したのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	北海道	
A201200933	平成25年2月10日	平成25年2月20日	脚立(はしご兼用) (アルミニウム合金製)	重傷1名	当該製品で作業中、転倒し、負傷した。当該製品の脚部が曲がっており、当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	兵庫県	
A201200934	平成24年3～4月	平成25年2月20日	自転車	重傷1名	当該製品で走行中、転倒し、負傷した。現在、原因を調査中。	岡山県	事業者が事故を認識したのは、1月31日

4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故情報専門調査会及び第三者委員会合同会議において審議を予定している案件

該当案件無し

歩行器（管理番号：A201200922）

